

＜設計内容説明書＞

申請建築物の建物用途に従い、必要なシートに記入して提出してください。

一戸建ての住宅		→	住宅	
共同住宅等		→	住宅	
非住宅建築物	通常版	→	非住宅建築物(通常版)	} いずれか選択
	詳細版(モデル建物法に限る)	→	非住宅建築物(詳細版)	
複合建築物	住宅部分	→	住宅	
	非住宅部分	通常版	→	} いずれか選択
		詳細版(モデル建物法に限る)	→	
			非住宅建築物(通常版)	
			非住宅建築物(詳細版)	

設計内容説明書【住宅用】

住宅又は、複合建築物の住宅部分

(☐ 一戸建て住宅 ☐ 店舗等併用住宅の住戸部分 ☐ 共同住宅等・複合建築物の住宅部分)

住戸番号	※共同住宅等の場合以外は記入不要
------	------------------

【外皮に関する事項】

確認事項	確認項目	設 計 内 容 (現 況) 説 明 欄			設計内容 確認欄
		項 目	設 計 内 容 (現 況)	記載図書欄	
共通	地域区分		地域		
	基準の選択	外皮	☐ 標準計算 ☐ 仕様基準 ☐ 誘導仕様基準		
		一次エネ	☐ 標準計算 ☐ 仕様基準 ☐ 誘導仕様基準		
躯体の 外皮性 能等	性能基準等	外皮平均熱貫流率	外皮平均熱貫流率 (U _A) 設計値: エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による 基準値 () 【W/m ² K】	☐ 計算書 ☐ 仕様書 ☐ 平面図	☐ 適
		外皮平均日射熱取得率	冷房期の平均日射熱取得率の計算値 (η _{AC}) 設計値: エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による 基準値 ()	☐ 立面図 ☐ 建具表 ☐ 仕様書	
	仕様基準	躯体の断熱性能等	☐ 熱貫流率の基準に適合 ☐ 断熱材の熱抵抗値の基準に適合 ☐ (鉄筋コンクリート造等の場合) 構造熱橋部の基準 (断熱補強) に適合	☐ ☐ ☐	
		開口部の断熱性能等	☐ 開口部の熱貫流率と日射遮蔽対策の基準に適合	☐	
			☐ 緩和措置あり	☐	
			☐ 窓の断熱 (2%緩和) ☐ 窓の日射 (4%緩和)	☐ ☐	

【一次エネルギー消費量等に関する事項】

確認事項	確認項目	設 計 内 容 (現 況) 説 明 欄			設計内容 確認欄
		項 目	設 計 内 容 (現 況)	記載図書欄	
事 基 項 本		計算対象床面積	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	☐ 平面図 ☐ 求積図	
一 次 消 エ 費 エ ネ ル ギ ー		計算結果等	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による ☐ 仕様基準 (住宅部分) ☐ 誘導仕様基準 (住宅部分)	☐ 計算書 ☐ 仕様書 ☐ ☐ ☐	☐ 適
設 備 の 概 要	設備機器に係る概要	暖房方式	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による ☐ () ※仕様基準・誘導仕様基準	☐ 仕上表 ☐ 建具表	☐ 適
		冷房方式	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による ☐ () ※仕様基準・誘導仕様基準	☐ 矩計図	
		換気設備方式	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による ☐ () ※仕様基準・誘導仕様基準	☐ 平面図 ☐ 機器表	
		給湯設備	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による ☐ () ※仕様基準・誘導仕様基準	☐ 系統図	
		照明設備	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による ☐ () ※仕様基準・誘導仕様基準	☐	
		太陽光発電の使用について	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		コージェネレーションの使用について	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
	共用部分		☐ 住宅の共用部分なし ☐ 住宅の共用部分の計算を省略 ☐ 住宅の共用部分を計算の対象とする		☐ 適

設計内容説明書（非住宅建築物・複合建築物の非住宅部分）

建築物の名称	
設計者氏名	

【設計内容】

[illegible]

建築物の名称	
設計者 (等) 氏名	

【基本事項】

確認事項	確認項目	設計内容説明欄			備考	確認欄 (※1)
		項目	設計内容	記載図書		
建物等の概要	計算条件	適用する計算方法	☒ モデル建物法	☐ 出力票		☐ 適
		申請の対象となるモデル建物用途 (複数選択可能)	☐ 事務所 ☐ ビジネスホテル ☐ シティホテル ☐ 総合病院 ☐ 福祉施設 ☐ クリニック ☐ 大規模物販 ☐ 小規模物販 ☐ 学校 ☐ 大学 ☐ 講堂 ☐ 幼稚園 ☐ 飲食店 ☐ 工場 ☐ 集会所 ()	☐ 出力票		
		モデル建物を選択した根拠	建築基準法における建築物用途からモデル建物を選択			
			実際の建築物の状況に応じてモデル建物を選択			

※1…判定機関・評価機関記入欄

【設計内容】

※3…記載図書の補足として活用 (図書名のみでは記載内容が分かりづらい場合、図番を具体的に記載)

確認事項	シート種別	設計内容説明欄						
		項目	設計内容	主な記載図書名	主な記載図番No (※3)	備考 (図面の明示内容、他)		
計算対象部分	様式 A	長さ・面積等	⑩計算対象部分の床面積	出力票による				
			⑪計算対象部分空調対象面積	出力票による				
			⑬計算対象部分の階高	出力票による				
			⑭計算対象部分の外周長さ	出力票による				
			⑮計算対象部分の非空調コア部	出力票による				
躯体の外皮性能等	様式 B-1	開口部の性能	・②③幅×高さ	出力票による				
			・④面積					
			・⑤⑥建具の種類・ガラスの種類	出力票による				
		・⑤⑦⑧建具の種類・ガラスの熱貫流率・ガラスの日射熱取得率	出力票による					
		・⑨⑩窓の熱貫流率・窓の日射熱取得率						
	☐ B-1 該当なし	建具仕様の根拠 (☐ JIS等による ☐ 仕様による)	—					
	様式 B-2	外壁等の性能	・③④⑥ (断熱材の種類・厚み)	出力票による				
			・⑤⑥ (断熱材の熱伝導率・厚み)					
			・⑦ (外壁等の熱貫流率)					
	☐ B-2 該当なし	断熱材仕様の根拠 (☐ JIS等による ☐ 仕様による)	—					
様式 B-3	外皮の仕様及び面積	・③④幅×高さ	出力票による					
		・⑤面積						
		⑧建具等個数	出力票による					
		☐ B-3 該当なし	⑨ブラインドの有無	出力票による				
		⑩日除け効果係数 (冷房・暖房)	出力票による					
空調設備	様式 C-1	空調熱源	②選択可能熱源機種名	出力票による				
			熱源機種の根拠 (・JIS等による)	—				
			③台数	出力票による				
			④熱源能力 (定格能力/台)					
			⑤熱源能力 (定格消費電力/台)	出力票による				
			☐ C-1 該当なし	⑥熱源能力 (定格燃料消費量/台)				
			熱源能力値の根拠 (・JIS等による)	—				
	様式 C-2	空調外気処理	②台数	出力票による				
			③④設計給気風量・設計排気風量	出力票による				
			⑤⑥全熱交換効率 (冷房時) (暖房時)	出力票による				
			全熱交換効率の根拠 (・JIS B 8628による)	—				
			☐ C-2 該当なし	⑦全熱交換器の自動換気切り替え機能の有無	出力票による			
				⑧予熱時外気取入れ停止の有無	出力票による			
	様式 C-3	二次ポンプ	②台数	出力票による				
			☐ C-3 該当なし	③1台当たりの設計流量	出力票による			
				④変流量制御の有無	出力票による			
			⑤⑥変流量時最小流量比	出力票による				
様式 C-4	空調送風機	②台数	出力票による					
		☐ C-4 該当なし	③1台当たりの設計風量	出力票による				
			④変風量制御の有無	出力票による				
			⑤⑥変風量時最小風量比	出力票による				

換気設備	様式 D	☐ D 該当なし	③換気対象室の床面積	出力票による			
			④第一・二・三種換気方式	出力票による			
			⑥台数	出力票による			
			⑦一台当たりの送風量	出力票による			
			⑧一台当たりの「電動機出力」又は「電動機入力」又は「消費電力」	出力票による			
			電動機出力等の根拠（・JIS等による）	—			
			⑨高効率電動機	出力票による			
			高効率電動機（⑨）根拠（・JIS等による）	—			
			⑩インバータ制御	出力票による			
			⑪送風量制御	出力票による			
照明設備	様式 E	☐ E 該当なし	③照明対象室の床面積	出力票による			
			④室指数（室の高さ）	出力票による			
			⑥照明器具一台当たりの消費電力	出力票による			
			照明器具の消費電力の根拠 （ ☐ JIS C 8105-3による ☐ ガイド114による）	—			
			⑦台数	出力票による			
			・⑧在室検知制御	出力票による			
			・⑨明るさ制御				
			・⑩タイムスケジュール制御				
			・⑪初期照度補正機能				
給湯設備	様式 F	☐ F 該当なし	④台数	出力票による			
			⑤熱源能力（定格加熱能力/台）	出力票による			
			⑥熱源能力（定格消費電力/台）				
			⑦熱源能力（定格燃料消費量/台）				
			熱源能力の根拠（・JIS等による）	—			
			⑧配管保温仕様（管径）（保温材厚さ）	出力票による			
昇降機設備	様式 G	☐ G 該当なし	②交流帰還制御方式・可変電圧可変周波数制御方式（回生なし・回生あり）	出力票による			
太陽光発電	様式 H	☐ H 該当なし	②太陽電池の種類	出力票による			
			③アレイの設置方式	出力票による			
			④（標準太陽電池アレイ出力）又は（太陽電池モジュール出力/枚×枚数）	出力票による			
			モジュール出力等の根拠（・JIS等による）	—			
			⑤パネルの設置方位角	出力票による			
			⑥パネルの設置傾斜角	出力票による			
コージェネレーション設備	様式 I	☐ I 該当なし	②一台当たりの定格発電出力	出力票による			
			定格発電出力の根拠（・JIS等による）	—			
			③台数	出力票による			
			④発電効率	出力票による			
			⑤排熱効率	出力票による			
			発電効率・排熱効率の近経（・JIS等による）	—			
			⑥排熱利用先	出力票による			

【入力内容等連絡事項欄】 必要に応じて作成してください（複数モデルの場合は主要モデルにて記載）

(1) 入力内容等（入力内容・支援ツール出力内容・設計内容）において、連絡すべき点を記載してください。

様式シート	連絡すべき内容	根拠等の説明（根拠は図書内で確認できる必要があります）	
様式A⑩	☐ 「計算対象外とする室」が存在する ※モデル建物法で計算対象とならない室は除く ※室名称で判断できる場合は記載しなくてもよい	室名称	該当する計算対象外の室（プルダウン又は入力）
様式C-2	☐ AC13・AC16の入力内容が右記いずれかの理由により「無」と判断できるため、様式C-2は作成しない	☐ 全熱交換器があるが、採用率が明らかに0.8を下回るため ☐ 予熱時外気取り入れ機能を有する送風機のみあるが、採用率が明らかに0.8を下回るため ☐ その他（ ）	
様式D	☐ 評価対象室に単相の送風機が存在する ☐ 単相の送風機入力をすべて省略している ☐ 単相の送風機入力を省略していない	・「単相の送風機は省略してもよい」とマニュアルに記載があるため	
様式D⑨⑩	☐ 制御系の選択肢をすべて「無」として評価している	・制御系を「無」とすることで不利側の結果となるため	
様式E⑦～⑩	☐ 制御系の選択肢をすべて「無」として評価している	・制御系を「無」とすることで不利側の結果となるため	
様式F	☐ 家庭用程度の湯沸しがある為、入力していない	・家庭用程度の湯沸し（流し台・シンク等）は入力しないとマニュアルに記載があるため	
様式F④	☐ 同一の給湯熱源機器が複数用途に対して使用される ☐ ①熱源機器の台数は、按分を用いた ☐ ②熱源機器の台数は、按分を用いなかった	☐ ①理由…給湯量を勘案して按分を行った（按分式等を設計図書に添付の事） ☐ ②理由…計算に用いる熱源効率に影響がないため按分を行わない ☐ その他（ ）	

様式F⑧	☐ 配管保温仕様をすべて「裸管」として評価している	・配管保温仕様を「裸管」とすることで不利側の結果となるため
様式F⑨	☐ 節湯器具をすべて「無」として評価している	・節湯器具を「無」とすることで不利側の結果となるため
様式G	☐ 昇降機の手動制御方式の仕様が未定（既存の場合不明）の為、「交流帰還制御等」を選択した	・「交流帰還制御等」とすることで不利側の結果となるため

(2) 該当設備がない場合以外で入力シートを作成しない場合、理由を記載してください。

☐ 作成していないシートがある（該当設備がない場合以外）													
作成しないシート	☐ 様式B-1	☐ 様式B-2	☐ 様式B-3	☐ 様式C-1	☐ 様式C-2	☐ 様式C-3	☐ 様式C-4	☐ 様式D	☐ 様式E	☐ 様式F	☐ 様式G	☐ 様式H	
理由記載欄	☐ 様式I												

(3) その他 自由記載欄（上記の補足説明や、伝えておきたいこと。記載欄が不足の場合、別紙に記入）

【BELS評価における設計内容記載事項の確認】

☐ ・BPI及びBEIの値は、「エネルギー消費性能計算プログラムの出力票」による				
☐ ・ZEBに関する事項で、再生可能エネルギー除き、加えそれぞれのBEIの値は、「エネルギー消費性能計算プログラムの出力票」による（ZEBマークに関する表示を選択した場合に限る）				
☐ 全量売電を行っていない	再エネ除くBEIm		再エネ除く削減率	%
	再エネ含むBEIm		再エネ含む削減率	%

(3) その他 自由記載欄

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

建築物の名称	〇〇ビル新築工事	記入見本
設計者（等）氏名	適判山 ベル男	

【基本事項】

確認事項	確認項目	設計内容説明欄			備考	確認欄（※2）
		項目	設計内容	記載図書		
建物等の概要	計算条件	適用する計算方法	☒ モデル建物法	☒ 出力票		☐ 適
		申請の対象となるモデル建物用途（複数選択可能）	☒ 事務所 ☐ 総合病院 ☐ 大規模物販 ☐ 大学 ☐ 飲食店 ☐ 集会所（ ）	☐ ビジネスホテル ☐ 福祉施設 ☐ 小規模物販 ☐ 講堂 ☒ 工場	☒ シティホテル ☐ クリニック ☒ 学校 ☐ 幼稚園	
		モデル建物を選択した根拠	☒ 建築基準法における建築物用途からモデル建物を選択			
			☐ 実際の建築物の状況に応じてモデル建物を選択			

※1…判定機関・評価機関記入欄

【設計内容】

※3…記載図書の補足として活用（図書名のみでは記載内容が分かりづらい場合、図番を具体的に記載）

確認事項	シート種別	設計内容説明欄					備考（図面の明示内容、他）
		項目	設計内容	主な記載図書名	主な記載図番No（※3）		
計算対象部分	様式A	長さ・面積等	⑩計算対象部分の床面積	出力票による	平面図（意匠）		
			⑪計算対象部分空調対象面積	出力票による	空調対象面積求積図		
			⑬計算対象部分の階高	出力票による	立面図	A-08	赤囲みによる明示
			⑭計算対象部分の外周長さ	出力票による	省エネ求積図		
			⑮計算対象部分の非空調コア部	出力票による	省エネ求積図		
躯体の外皮性能等	様式B-1	開口部の性能	・②③幅×高さ ・④面積	出力票による	建具表	A-28～30	
			・⑤⑥建具の種類・ガラスの種類 ・⑦⑧建具の種類・ガラスの熱貫流率・ガラスの日射取得率 ・⑨窓の熱貫流率・窓の日射取得率	出力票による	建具表		
		☐ B-1 該当なし	建具仕様の根拠 (☒ JIS等による ☐ 仕様による)	—	建具表		
		外壁等の性能	・③④⑥（断熱材の種類・厚み） ・⑤⑥（断熱材の熱伝導率・厚み） ・⑦（外壁等の熱貫流率）	出力票による	仕様書		熱貫流率の値は、「無の場合の値」を活用し入力
		☐ B-2 該当なし	断熱材仕様の根拠 (☒ JIS等による ☐ 仕様による)	—	断面図		
	様式B-3	外皮の仕様及び面積	・③④幅×高さ ・⑤面積	出力票による	断熱範囲図		
			⑧建具等個数	出力票による	平面図		
		☐ B-3 該当なし	⑨ブラインドの有無	出力票による	建具表	A-28～30	
			⑩日除け効果係数（冷房・暖房）	出力票による	算出7-4+建具表	A15・A28～30	底寸法は立面図に強調記載
		空調熱源	②選択可能熱源機種名 熱源機種の根拠（・JIS等による）	出力票による	仕様書 根拠資料一覧表		
空調設備	様式C-1		③台数	出力票による	仕様書		
			④熱源能力（定格能力/台）	出力票による	機器表	M-02	
			⑤熱源能力（定格消費電力/台）	出力票による			
		☐ C-1 該当なし	⑥熱源能力（定格燃料消費量/台） 熱源能力値の根拠（・JIS等による）	出力票による	根拠資料一覧表		
		空調外気処理	②台数	出力票による	仕様書		
	様式C-2		③④設計給気風量・設計排気風量	出力票による	仕様書		
			⑤⑥全熱交換効率（冷房時）（暖房時）	出力票による	仕様書		
			全熱交換効率の根拠（・JIS B 8628による）	—	根拠資料一覧表		
		☐ C-2 該当なし	⑦全熱交換器の自動換気切り替え機能の有無	出力票による	機器表		
			⑧予熱時外気取入れ停止の有無	出力票による	機器表		
	様式C-3	二次ポンプ	②台数	出力票による			
		☒ C-3 該当なし	③1台当たりの設計流量	出力票による			
			④変流量制御の有無	出力票による			
	様式C-4	空調送風機	⑤⑥変流量時最小流量比	出力票による			
		☒ C-4 該当なし	②台数	出力票による			
			③1台当たりの設計風量	出力票による			
			④変流量制御の有無	出力票による			
			⑤⑥変風量時最小風量比	出力票による			

換気設備	様式D	☐ D 該当なし	③換気対象室の床面積	出力票による	平面図(換気)		
			④第一・二・三種換気方式	出力票による	仕様書		
			⑥台数	出力票による	仕様書		
			⑦一台当たりの送風量	出力票による	仕様書		
			⑧一台当たりの「電動機出力」又は「電動機入力」又は「消費電力」	出力票による	仕様書		
			電動機出力等の根拠 (・JIS等による)	—	根拠資料一覧表		
			⑨高効率電動機	出力票による	仕様書		
			高効率電動機 (⑨) 根拠 (・JIS等による)	—	根拠資料一覧表		
			⑩インバータ制御	出力票による	制御図		
			⑪送風量制御	出力票による	制御図		
照明設備	様式E	☐ E 該当なし	③照明対象室の床面積	出力票による	平面図		
			④室指数 (室の高さ)	出力票による	平面図(省エネ)		
			⑥照明器具一台当たりの消費電力	出力票による	仕様書(照明)		
			照明器具の消費電力の根拠 (☐ JIS C 8105-3による ☒ ガイド114による)	—	根拠資料一覧表		
			⑦台数	出力票による	平面図(照明)		
			・⑧在室検知制御	出力票による			赤囲みによる明示
			・⑨明るさ制御		制御図	E-12	
			・⑩タイムスケジュール制御				
			・⑪初期照度補正機能				
給湯設備	様式F	☐ F 該当なし	④台数	出力票による	衛生器具表		
			⑤熱源能力 (定格加熱能力/台)	出力票による	機器表	M-15	
			⑥熱源能力 (定格消費電力/台)				
			⑦熱源能力 (定格燃料消費量/台)				
			熱源能力の根拠 (・JIS等による)	—	根拠資料一覧表		
			⑧配管保温仕様 (管径) (保温材厚さ)	出力票による	機器表		
			⑨自動給湯栓・節湯B1 (小流量吐水機構の有する水栓)	出力票による	仕様書(衛生)		
昇降機設備	様式G	☐ G 該当なし	②交流帰還制御方式・可変電圧可変周波数制御方式 (回生なし・回生あり)	出力票による	仕様書(昇降機)		
エネルギー利用効率化設備	様式H	☐ H 該当なし	②太陽電池の種類	出力票による	仕様書		
			③アレイの設置方式	出力票による	仕様書		
			④ (標準太陽電池アレイ出力) 又は (太陽電池モジュール出力/枚×枚数)	出力票による	仕様書		
			モジュール出力等の根拠 (・JIS等による)	—	根拠資料一覧表		
			⑤パネルの設置方位角	出力票による	配置図		
			⑥パネルの設置傾斜角	出力票による	断面図		
コージェネレーション設備	様式I	☒ I 該当なし	②一台当たりの定格発電出力	出力票による			
			定格発電出力の根拠 (・JIS等による)	—			
			③台数	出力票による			
			④発電効率	出力票による			
			⑤排熱効率	出力票による			
			発電効率・排熱効率の近経 (・JIS等による)	—			
			⑥排熱利用先	出力票による			

【入力内容等連絡事項欄】 必要に応じて作成してください (複数モデルの場合は主要モデルにて記載)

(1) 入力内容等 (入力内容・支援ツール出力内容・設計内容) において、連絡すべき点を記載してください。

様式シート	連絡すべき内容	根拠等の説明 (根拠は図書内で確認できる必要があります)
様式A⑩	☒ 「計算対象外とする室」が存在する ※モデル建物法で計算対象とならない室は除く ※室名称で判断できる場合は記載しなくてもよい	室名称 該当する計算対象外の室 (プルダウン又は入力) 1F〇〇室 工場等における物品を製造するための室 2F冷凍倉庫 冷凍室、冷蔵室、定温室 (室全体であるもの) 1F駐車場 機械式駐車場 (従来用途も含む、吊上式自動車庫や機械式立体自動車庫等)
様式C-2	☐ AC13・AC16の入力内容が右記いずれかの理由により「無」と判断できるため、様式C-2は作成しない	☒ 全熱交換器があるが、採用率が明らかに0.8を下回るため ☐ 予熱外気取り入れ機能の有する送風機のみがあるが、採用率が明らかに0.8を下回るため ☐ その他 ()
様式D	☒ 評価対象室に単相の送風機が存在する ☒ 単相の送風機入力をすべて省略している ☐ 単相の送風機入力を省略していない	「単相の送風機は省略してもよい」とマニュアルに記載があるため
様式D⑨⑩	☐ 制御系の選択肢をすべて「無」として評価している	・制御系を「無」とすることで不利側の結果となるため
様式E⑦～⑩	☐ 制御系の選択肢をすべて「無」として評価している	・制御系を「無」とすることで不利側の結果となるため
様式F	☒ 家庭用程度の湯沸しがある為、入力していない	・家庭用程度の湯沸し (流し台・キッチン等) は入力しないとマニュアルに記載があるため
様式F④	同一の給湯熱源機器が複数用途に対して使用される ☒ ①熱源機器の台数は、按分を用いた ☐ ②熱源機器の台数は、按分を用いなかった	☒ ①理由…給湯量を勘案して按分を行った (按分式等を設計図書に添付の事) ☒ ②理由…計算に用いる熱源効率に影響がないため按分を行わない ☐ その他 ()
様式F⑧	☐ 配管保温仕様がすべて「裸管」として評価している	・配管保温仕様を「裸管」とすることで不利側の結果となるため
様式F⑨	☐ 節湯器具をすべて「無」として評価している	・節湯器具を「無」とすることで不利側の結果となるため
様式G	☐ 昇降機の種類制御方式の仕様が未定 (既存の場合不明) の為、「交流帰還制御等」を選択した	・「交流帰還制御等」とすることで不利側の結果となるため

(2) 該当設備がない場合以外で入力シートを作成しない場合、理由を記載してください。

☒ 作成していないシートがある (該当設備がない場合以外)	作成しないシート ☐ 様式B-1 ☐ 様式B-2 ☐ 様式B-3 ☐ 様式C-1 ☐ 様式C-2 ☐ 様式C-3 ☒ 様式C-4 ☐ 様式D ☐ 様式E ☒ 様式F ☐ 様式G ☐ 様式H
理由記載欄	様式I 様式G…油圧式エレベーターのみの為 様式F…給湯仕様が未決定の為作成していない。(シートはHW2に「指定しない」を直入力) 完了検査時までに変更対応予定 様式C-3・C-4…空調方式は中央熱源方式ですが、変流量制御及び変風量制御が「無」である為

(3) その他 自由記載欄（上記の補足説明や、伝えておきたいこと。記載欄が不足の場合、別紙に記入）

【BELS評価における設計内容記載事項の確認】

☒	・BPI及びBEIの値は、「エネルギー消費性能計算プログラムの出力票」による					
☒	・ZEBに関する事項で、再生可能エネルギー除き、加えそれぞれのBEIの値は、「エネルギー消費性能計算プログラムの出力票」による (ZEBマークに関する表示を選択した場合に限る)	再エネ除くBEI	0.5	再エネ除く 削減率	50	%
☒	全量売電を行っていない	再エネ含むBEI	0	再エネ含む 削減率	100	%